

## 主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 15

神聖な三一の神聖な分与を通して、神聖なエコノミーを完成するための神の執事職

聖書：I コリント 4:1-2, 9:17, エペソ 3:2, 9, 4:12, コロサイ 1:25

I. 神のエコノミーは、使徒たちとすべての信者に与えられた神の執事職となりました——エペソ 3:2, 9, コロサイ 1:25, I コリント 9:17 :

A. エペソ第3章で、パウロは「オイコノミア」というギリシャ語の言葉を二つの意味で用いています :

1. 神に関して、「オイコノミア」は神のエコノミーを意味します——9節。
2. わたしたちに関して、「オイコノミア」は執事職を意味します——2節。

B. 神のエコノミーは使徒たちに来たとき、神の執事職となりました——I コリント 9:17, エペソ 3:2, 9, コロサイ 1:25 :

1. 神の執事職は神のエコノミーにしたがっています。神に対してはエコノミーがあり、使徒たちに対しては執事職があります——エペソ 3:2。
2. 執事職は神によって案配された特別な奉仕であり、彼の永遠のエコノミーを完成します——I コリント 9:17。
3. エペソ第3章2節とコロサイ第1章25節で、「執事職」という言葉は分与の意味を伝達します。
4. 神の執事職とは、手順を経て究極的に完成された三一の神をキリストの中で、彼の選ばれ、贖われ、再生された人の中へと分与して、彼が彼らの命、命の供給、すべてとなり、唯一のキリストのからだとしての召会を建造して、彼の団体の表現とすることです——エペソ 3:14-21, コロサイ 1:25, 3:4, 10-11。

C. 「執事」(オイコノモス)というギリシャ語の言葉は、「分与する執事」、「家族の管理者であり、家族の供給を家族の者たちに分与する者」を意味します——I コリント 4:1-2 :

1. 神の願いは、甘い親密な執事職を通して、ご自身を彼の神聖な三一の中で彼の家族の者たちの中へと分与することです——II コリント 13:14。
2. 新約で執事は、神の家族に対して神の分与を顧みる者です。ですから、執事は分与する者、神の子供たちに神聖な命の供給を分与する者です——ルカ 12:42, 16:1, I ペテロ 4:10。
3. 使徒たちは主によって立てられてそのような執事となり、神の奥義を分与しました。それは神の奥義としてのキリストと、キリストの奥義としての召会です——コロサイ 2:2, エペソ 3:4。
4. 忠信な執事は、召会の中で、神の言葉とキリストを、命の供給として供給することによって、信者たちに食物を与える者です——マタイ 24:45。

D. 神のエコノミーと神の執事職は、実は一です。これが意味するのは、わたしたちは神が行なっていること、すなわち、神の執事職を通して神聖な三一の神聖な分与を

もって、神のエコノミーを完成すべきであるということです——エペソ 1:10. 3:2, 9。

**II. 神の執事職は神の恵みの執事職です。それは、神の恵みを神の選ばれた人の中へと分与して、召会を建造することです—— 2, 14-21 節 :**

A. エペソ第 3 章の文脈によれば、神の恵みの執事職は、キリストの計り知れない豊富を恵みとして人に分与することです—— 2, 8 節。

B. 恵みとは、わたしたちの享受としての神ご自身です。キリストの中でキリストを通して、わたしたちは神を受け入れ、神はわたしたちの享受となります——ヨハネ 1:14, 16-17 :

1. 恵みの執事職は、神を人の中へと分与して彼らの享受とすることです—— II コリント 13:14。

2. わたしたちは享受として神にあずかるので、彼を恵みとして人の中へと分与することができます。これが神の恵みの執事職です——エペソ 3:2。

**III. 神の執事職は、神の新約エコノミーにおける務めです——コロサイ 1:25. II コリント 4:1 :**

A. 執事職から新約の務めが来て、この務めは神のエコノミーと一致します。すなわち、それは神がご自身を彼の選ばれた人の中へと分与し、キリストのからだを建造することと一致します——エペソ 4:16。

B. 新約の務めは、キリストの計り知れない豊富を神の家族の者たちの中へと分与することです—— 3:8。

C. 新約における一つの唯一の務めは、神の恵みとしてのキリストを彼の選ばれた人の中へと分与して、キリストのからだとしての召会を建造し、手順を経た三一の神の有機体とならせ、彼の満ち満ちた永遠の表現とすることです—— 4:12, 16。

D. 新約における真の、純粹で、十分な務めは神聖な執事職であり、それは三一の神をキリストの中で、命また命の供給として人に供給することです—— II コリント 4:1. 13:14。

E. 神にとってキリストの豊富は彼のエコノミーであり、わたしたちにとってそれは執事職です。それはわたしたちによって人の中へと分与されるとき、神の分与となります。ですから、わたしたちは神聖なエコノミー、神聖な執事職、神聖な三一の神聖な分与を持っています——エペソ 3:2, 9. II コリント 13:14。